

**あらがわむらこうちせいりきねんひ**  
**荒川村耕地整理記念碑**

昭和2年(1927)に荒川村の大字「土山」という場所で田畑の整理が行われました。昭和11年(1936)に土山とよばれるようになりました。その後、昭和55年(1980)に土山の一部、花影、定元、神田町の一部が一つになって土山東の町となりました。

行った日



**きゅうせいひめじしやうぎやうがっこうあと**  
**旧制姫路商業学校跡**

明治44年(1911)、北条口にできた姫路市立商業学校は、大正3年(1914)にこの場所に移りました。その後、兵庫県立商業学校となって、戦後まで続きました。その後は、姫路市立琴陵中学校となりましたが、琴陵中学校も薬師山に移ったので、このあたりは家やお店が集まる町になりました。

行った日



**こうちせいりきねんひ**  
**耕地整理記念碑**

この地域全体は「福沢町」とよばれ、博労町・船場本徳寺から西はほとんどが田や畑でした。大正11年(1922)に田畑の整理をする計画が立てられ、大正13年(1924)に始まり、大正15年(1926)に終わりました。その年に船橋・東雲・花影・神田・定元の町が生まれたことを記念した碑です。

行った日



**ことひらじんじや**  
**琴平神社**

いつ建てられたのかははっきりわかっていませんが、江戸時代中ごろとのいわれがあります。船入川の船着き場が近くにあるので、四国の琴平神社から船の安全を守る琴平大物主大神を招いてまつています。明治32年(1899)に、元町に住んでいる人たちによって神殿や拜殿が修理されました。

行った日



**しょうやとう**  
**常夜灯**

慶応4年(1868)につくられました。下の台には、「あほし むろつみち」と彫られています。もとは、室街道という道の出口にありましたが、今は千代田公園に移されています。

行った日



田畑を整理するという意味の「耕地整理」を記念した碑がありますね。くわしく調べてみると今の町名になるまでのいきさつが分かりますよ。

**せんばちく**  
**5 船場地区**



調べたこと、  
わかったことを  
書いてみよう!



- 遺跡・史跡  
歴史上の名所
- 神社・仏閣  
歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り  
下町行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

0m 250m 500m

**せんばほんとくじ**  
**船場本徳寺**

「御坊さん」とよばれています。江戸時代の初め、本多忠政が姫路藩の殿さまだった時に建てられました。本堂・表門・鐘楼・大玄関などは、市の文化財に指定されています。明治天皇が姫路を訪れた時の行在所という御殿が今でも残っています。境内には薬師山から移された明治維新の勤王の志士12人の墓や、西南の役という戦争の記念碑があります。

行った日



**ちよだまち どうびょう**  
**千代田町の道標**

兼田たば店の角に立っている古い道しるべです。「あほ志みち」と彫られています。この道しるべから南北にのびる道が網干や室津につながる道でした。いつごろのものははっきりしませんが、道しるべを見ていると昔の道を思い描くことができます。

行った日



**はくろぼし**  
**白鷺橋**

昭和の初めに姫路城の中堀を埋めて国道2号をつかった時に、船場川に架けられた橋です。姫路大空襲で被害を受けましたが、昭和49年(1974)からの国道2号を広げる工事は焼けこげた跡が残る欄干をそのまま残し、平成3年(1991)に工事が終わりました。

行った日



**みきじ ぞうせん**  
**岬地藏尊**

もとは船場川のすぐ西の低い畑の端にあって、江戸時代から川を上り下りする船を見守ってきました。昭和の初めごろに、今の高い場所にうつり移され、それからは子どもたちが元気に遊ぶ様子を見守り続けています。

行った日



**たちえじ ぞうせん**  
**立江地藏尊**

四国八十八ヶ所第十九番霊場のお寺「高野山真言宗 立江寺」がもとになります。神さまの利益がすぐに現れることで有名です。昔から「子安の地藏尊」とか「立江の地藏さん」という呼び名で知られています。

行った日

